

スズメノカタビラ (雀の帷子)

名前の意味：スズメが使う帷子（昔の着物の一種）の意味。小さな植物には、スズメが使うぐらいの大きさという意味でスズメノ〇〇〇と名付けることがある。

分類：単子葉類、イネ科、イチゴツナギ属

(イネ科の栽培植物：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた（自生）

特徴：細長い葉、緑色の小さな花

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚（小さくて目で見てもよくわからない）、離弁

花の時期：3—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ミゾイチゴツナギとは、背が低く、花序（花の集まり）

の枝が斜め上に伸びることで区別できる。スズメノカタビラは高さ 10-30cm、ミゾイチゴツナギは 30-70cm。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)